

いつもJA津安芸をご利用頂きありがとうございます。  
JA津安芸管内の農業情報や農業を営む担い手の皆様に  
少しでも役に立つ情報をお届けさせていただきます。



## 水稻の育苗 『はじめが肝心』 浸ける水の温度を確認しましょう！！

### 浸種のポイント

#### ①水温

10℃以下  
低いと？

適温

11℃～13℃

15℃以上

高すぎると？

●催芽前に芽が出て  
不揃いになる。

●10℃以下の水温だと出芽が揃わない。5℃以下と  
低すぎると休眠に入り出芽不良になってしまいます。  
特に、浸け始めの水温が重要になり、必ず浸け始め  
の水温を11℃～13℃になっていることを確認して  
から浸種作業に入りましょう。



水温を  
確認してから  
始めよう！

※農薬消毒する時から水温に注意しましょう。

#### ②浸ける期間

浸種期間が  
短いと？

●水分の吸収不足で  
出芽が遅れる。

適正

7日～9日間

浸種期間が  
長過ぎると？

●発芽力が落ちて  
死滅する種もみが  
やすい。

※定期的に水を入れ替えましょう。(酸欠注意！)

### ◆◆◆浸種の目安◆◆◆

水温11℃～13℃に保ち、7日間から9日間が理想的！！

### 催芽のポイント

浸種がうまくいけば、健全な出芽への準備は整ったも同然です。

しかし、催芽で失敗することもあり、最後まで油断をせずに取り組みましょう！！

適正な催芽は  
30℃～32℃  
ハトムネ割合70%以上



適正な出芽を確保するには、催芽の見極めが重要です。

ハトムネの割合になっているかをよく確認してから催芽を切り上げるようにして下さい！！

参考 JA北ひびき・上川普及センター資料